

各位

2018年10月5日

株式会社アプリックス

(コード番号:3727 東証マザーズ)

「MyBeacon® Pro MB004 UMc-DR」が ucode タグ認定取得**～ アプリックス製 ucode タグは 2019 年に提供開始予定 ～**

IoT (Internet of Things) 製品向けソリューションの開発を手掛ける株式会社アプリックス(本社:東京都新宿区、代表取締役 兼 取締役社長:長橋賢吾、以下「アプリックス」)は、「MyBeacon®シリーズ」の「MyBeacon® Pro MB004 UMc-DR(以下「MB004 UMc-DR」)」が、2018年9月6日(木)、トロンフォーラム^{※1}(東京都品川区、会長:坂村健・東洋大学情報連携学部 (INIAD) 学部長)から ucode タグ認定を取得^{※2}したことをお知らせします。

「MB004 UMc-DR」を基にしたアプリックス製の ucode タグは、2019年の提供開始を予定しています。また ucode タグの開発と並行して ucode を利用したサービスのコンサルティングや開発支援も行います。

< ucode タグとは >

ucode (ユーコード)とは、個々のモノや場所などを識別するための IoT 向けのネットワーク解決型汎用識別番号です。ucode はトロンフォーラム内の組織であるユビキタス ID センター^{※3}によって発行・管理されており、国際連合の下部組織である ITU-T (国際電気通信連合・電気通信標準部門)が制定した国際標準規格「ITU-T Y.4804/H.642.1」を実現するための特に重要な技術として全面的に取り入れられています。

ucode は世界共通で唯一の番号であり、たとえば同じ製品であっても 1 つ 1 つの個体には異なる番号が付与されます。また ucode は、モノや場所だけでなく、コンテンツ、概念、情報などに対しても付与できます。

ucode タグとは、ucode を格納し、自動的に読み取れるようにするための媒体です。ucode タグにはバーコード、RFID タグなどの媒体も利用されますが、トロンフォーラムが策定した「Bluetooth® LE ucode マーカー」も ucode タグの一種です。Bluetooth LE ucode マーカーの仕様は「Bluetooth LE ucode マーカーパッケージ仕様 [UID-00049]」で規定されており、「MB004 UMc-DR」はこの仕様に基づいています。

< 「MB004 UMc-DR」ができること >

「MyBeacon シリーズ」はアプリックスが開発・販売している Beacon (ビーコン)のブランドです。省電力の近距離無線通信である Bluetooth Low Energy を使い、情報を定期的に発信する機能があります。

「MB004 UMc-DR」が発信する情報は、あらかじめ Beacon 内に格納された ucode です。専用のスマートフォンアプリをインストールし、Bluetooth を有効にしたスマートフォンを持った人が「MB004 UMc-DR」に近づくと、アプリは ucode を自動的に受信し、その ucode に紐付けられた場所の案内、商品の説明などの情報を表示することができます。

< 今後について >

2019年提供開始予定のアプリックス製 ucode タグは、「MB004 UMc-DR」と同様の機能をもつ予定です。アプリックスは市場のニーズを収集・分析しながら ucode タグの開発を続け、同時に ucode を利用したサービスのコンサルティングや開発支援サービスを提供していきます。

<トロンフォーラムとアプリックスについて>

トロンフォーラムは、オープンソース、オープンデータおよびオープン API で、組織や応用に縛られないオープン IoT の実現を目指す、TRON プロジェクトの推進母体です。アプリックスは 1997 年に TRON プロジェクトと出会い、現在はトロンフォーラムの i 会員として活動しています^{※4}。今後も TRON プロジェクトが目指す「組織や応用に縛られないオープン IoT」の実現に取り組みながら、TRON プロジェクトが生み出す技術を活用した製品やサービスの研究開発を進めていきます。

※1 トロンフォーラムに関する詳細は、トロンフォーラム公式サイト(<https://www.tron.org/ja/>)を参照。

※2 ユビキタスIDセンター「ucode認定タグ一覧(<http://www.uidcenter.org/ja/learning-about-ucode/certifiedtags/list>)」参照。

※3 ユビキタスIDセンターに関する詳細は、ユビキタスIDセンター公式サイト(<http://www.uidcenter.org/ja/>)参照。

※4 TRONプロジェクトにおけるアプリックスの主な活動

- ・ 1997年、組み込み機器用リアルタイムOSとしてITRON仕様カーネルにJava実行環境を融合させた「JTRON」仕様の策定に参加。
- ・ 1997年、世界初のJTRON仕様準拠OS「JBlend®(ジェイブレンド)」を開発、発表。
- ・ 2002年、トロンフォーラムの前身であるT-Engineフォーラムに設立発起人企業の一社として参加し、設立後は幹事会員として活動。
- ・ 2005年、T-Engineフォーラムで策定した「T-JV(T-Engine/T-Kernel上のJava実行環境)」WGの座長を務める。
- ・ 2018年にi会員として再加入。ucodeタグおよびIoT-AggregatorにおけるクラウドAPI連携などに取組中。

■株式会社アプリックスについて

アプリックスの使命は「ソフトウェアの力で世の中のあらゆる人々に幸せをもたらすこと」です。携帯電話でのJava利用という新しいフロンティアを切り開いた「JBlend」に続き、開拓中の分野が、IoTです。当社ではIoTモジュール(ビーコン)、スマホアプリ、クラウドサービス等のIoTソリューションを一貫して提供することで、家電製品等のIoT化を推し進め、「モノからの通知によって人々の生活を豊かにする」というコンセプトの実現を目指しております。

アプリックスのwebsite(投資家情報等):<https://www.aplix.co.jp/>

アプリックスのテクノロジー事業:<https://business.aplix.co.jp/>

■お問い合わせ先:

お問い合わせのページ:<https://www.aplix.co.jp/inquiry/>

※記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。